

水害時の衛生対策と消毒について

秋田市保健所 健康管理課

水害により家屋等が浸水すると、その後雑菌が繁殖しやすい環境になり、感染症が発生する恐れがあります。

感染症予防のためには、**ていねいな清掃**と**十分な乾燥**が最も重要です。

1 床上の場合

室内は、食事や睡眠など生活を行う場所のため、泥や汚れを十分に取り除いた後、消毒を行いましょう。

○汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きするなどしてください。

○食器棚や冷蔵庫などは、汚れをきれいに拭き取ってください。

○食器類や調理器具などは、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。

○消毒は、清掃や拭き取りで十分に汚れを除去し、乾かした後で行ってください。

※消毒薬の使用方法については、裏面をご参照ください。

2 家の周囲や床下の場合

庭や床下などの屋外の消毒は、原則不要です。

土砂等を取り除いた後、しっかり乾かすことが重要です。

○庭木や外壁についた泥は、水で十分に洗い流してください。

○床下換気口のごみを取り除き、床下の風通しを良くしてください。

○床下はスコップや流水を用いて汚泥を取り除いた後、雑巾などで水気をなくし、扇風機などを使って換気し、乾燥させてください。

3 食中毒、感染症の予防について

○調理や食事前および用便後には、必ず石けんで十分に手洗いしてください。

共用の手ふきタオルは避けましょう。ペーパータオルが望ましいです。

○水に浸かった食品あるいは、停電等により保存温度が保てなかった要冷蔵・冷凍食品は、廃棄してください。

○食器や調理器具などは、次亜塩素酸ナトリウム希釈液に浸した後、よく水洗いをしてから使用しましょう。熱に強い物は煮沸消毒や熱湯消毒も効果的です。

○腹痛、下痢、発熱等、からだに異常を感じたら、早めに受診してください。

○水道水が濁っている、臭いがする、変な味がする、水に色がついている、等異常を感じた場合は、上下水道局（TEL 8 2 3 - 8 4 3 1）に連絡してください。

【問い合わせ】

秋田市保健所 健康管理課
感染症・難病担当
電話 8 2 7 - 5 2 5 0

清掃の時の注意事項

○ドアと窓を開けて、しっかり換気

数日して自宅に戻るときは、屋内にカビが発生していることがあります

○汚泥は取り除き、しっかり乾燥

消毒薬は、汚れを取り除いた上で使用しましょう

○清掃中のケガ予防に手袋を着用

○ほこりを吸わないようにマスクを着用

○清掃が終わったらしっかり手洗い

主な消毒方法について



○次亜塩素酸ナトリウム

汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合に使用します

○アルコール、塩化ベンザルコニウム（逆性せっけん）

色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合に使用します

消毒薬	対象と使い方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤でも可)	0.02%に希釈する ＜水1リットルに対し消毒薬5ml＞ ①食器用洗剤と水で洗う ②希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒液を含ませた布で拭き、その後水洗い・水拭きする ③よく乾燥させる	0.1%に希釈する ＜水1リットルに対し消毒薬20ml＞ ①泥などの汚れを洗い流すか雑巾で水拭きしてから十分に乾燥させる ②希釈した消毒液に浸した布などでよく拭く ③金属面や木面など色あせが気になる場所は水で二度拭きする
消毒用アルコール (アルコール濃度70%以上)	希釈せず原液のまま使用する ①洗剤と水で洗う ②アルコールを含ませた布で拭く	希釈せず原液のまま使用する ①泥などの汚れを洗い流すか雑巾で水拭きしてから十分に乾燥させる ②アルコールを含ませた布で拭く
10%塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)	0.1%に希釈する ＜水1リットルに対し消毒薬10ml＞ ①泥などの汚れを洗い流すか雑巾で水拭きしてから十分に乾燥させる ②希釈した消毒液に浸した布などでよく拭く	0.1%に希釈する ＜水1リットルに対し消毒薬10ml＞ ①泥などの汚れを洗い流すか雑巾で水拭きしてから十分に乾燥させる ②希釈した消毒液に浸した布などでよく拭く